（十九日夕刊）

磐城新聞

休刊日 大祭日 第一第三日曜日
定價 壹枚二錢 壹ヶ月五十錢 郵稅拾錢
廣告料（雜報欄一行五十錢 場所指定二十錢增）
發行兼編輯印刷人 蓮沼龍輔
福島縣平町田町拾六
發行所 磐城新聞社

世相觀斷片

本馬千賀衛

自然の法則は確實なもので、も早五月だ——、こうして逝く春を追ふて都の空を慕ひつゝ家出する地方の若い男女が多くなつて來た。而して彼等の多くは日活、松竹、帝キネ、マキノ、東亞等の各撮影所目がけて行くとのことだが、これが整理には各撮影所とも年中手古ずつて居るとのことである、最近帝キネの撮影所には毎日二十八近く押かけてくると云ふ。

◇

家族心中、無理心中、鐵道自殺等時節柄自殺が增加した、いづれもその原因の詳細を知る由もないが、彼等は生きてゐる事が死以上の苦痛となつての揚句であることは確である。成績を苦にして自殺した女學生も何處かにあつた、十七八歲の青春期をあたら散らしてしまふのはあまりになげかはしい。何か考ふる所がなかつたか？

◇

映畫「椿姬」撮影中の主演岡田嘉子は、映畫ばかりのラブシーンであつては心足りないとあつてか竹內良一と戀の實演としやれる。戀の道ばかりは又格別である。

◇

曰「××全集」曰く「××全集」等豫約募集一圓本流行すゝ。何れも玉篇よりなる全集で誰も讀たは山々である。然しプロは諦念がつくが、中產讀書子にはあれも讀たいこれも讀たいで、へこたれて居るらしい。

◇

去る三月に磐城町田炭鑛に於ける大慘事があり百三十餘名を出し世界に悲劇があつた矢先、…人山炭鑛瓦斯爆發の慘死者を出したことについて會社はいつれも…葬…、弔慰金を出してあるが爾後路頭に迷ふ遺族はあまりにもあはれである。あゝ……再び還らず涙に暮るゝ遺族や悲嘆

◇

震災手形法案は銀行をすくふ為めであるのに、皮肉にも前片岡藏相のおしやべりが祟つて、著名な銀行が七つも續いて破綻したとのこと——この豫金が一億六七千萬圓、而もその八割以上の豫金者は月給取や小賣り商人であると聞く。

◇

憲政若槻內閣辭職して、政友田中內閣が組織された、黨派關係はどうでもいいが各閣僚は責任と努力とを以て、善政を施いてもらひたいものである。

明日の吉凶

舊曆四月二十日　新曆五月二十日

▲一白　無謀破氣に走り易き日　何事にも愼みが第一
▲二黑　運氣盛んなる日　名ひろめ企業開店いつれも大吉日
▲三碧　至極結構なる日　急がずとも思ふ所に達せん
▲四綠　依賴心を起さず自ら勵む時は發展を見るべし
▲五黃　質朴を主とし倦まざる時は大吉の日なる
▲六白　初めよくして終りを愼むべき日　金談緣談凶
▲七赤　心忙しく後から火に追ひ驅けらるゝ如き日
▲八白　運氣強くこれまでの難事も一掃せらるゝ吉日
▲九紫　先走る時は思はぬ淵に陷る日　遲くとも急ぐな

講談　血で血を洗ふ　(39)

高橋掬太郎創作
布施伊八郎揮毫

死物狂ひ

骨をえぐるやうな神部、皮肉に昌康も早聞重太夫も苦い顏をした。ただ溜飲が一度に下つたやうに小氣味よく思つたのは奧方であつた。

力と頼む神部清左工門の姿が見ねないので奧方の力落しは甚だしいものだつた最早今日の評定には敗けるものと諦めてゐた、其處へ清左工門が駈けつけて來たのだから暗夜に光明を得たより奧方は嬉しかつた。百萬の味方を得たに勝る勇氣を盛り返した。

「重太夫殿御説明遊されたがようございませう」

と奧方は微笑んで云つた

「はッ……」と答へて重太夫は清左工門に向つた

「余の儀でもござらぬが今度主君が御出征遊された留守を狙つて織田信長が一萬の兵を以つて柴田勝家を大將に當城を攻めるとの事でござる」

「うむ」

「それで籠城して戰ふか或は降服してお家の安泰を圖らうかと本日評定を開いたのでござる」

「いやこれは異なことを聞くものぢや評定の開くことはよろしが苟もお家の浮沈に關する重大の評定を開くの上席家老たる拙者に御案內なきは如何なる次第でござるか？」

清左工門は聲を荒らげて詰め寄つた。

「ナニ、神部殿の許へは御通知がなかつたと申されるか、ハテその樣なことのあるべき筈がないが如何したのであらう？」

重太夫はとぼけて首をかしげた

「然らば通知なされたと申されか？」

清左工門は一分の隙も赦せぬやうに突つ込んだ

「如何にも廻狀を發したのでござるから通知が屆かぬものとは知らなかつた。だに依つて貴殿の姿の見ゑないのは御病氣のためと存じ申した。

重太夫は言葉巧みに云ひのがれ樣とした。

「左樣でござるか然らばそれは使者の落度で拙者宅へ寄らなかつたものとしておいてもよろしうござるが苟にも上席家老の拙者他の者の欠席と異なり使の者に何故の欠席であるか位のことはお訊ねになるのが當然でござるまいか……」

「いやその點は相濟み申さぬ氣づかぬのが拙者の落度でござつた」

重太夫にとつて清左工門は確かに苦手だつた。

「それはかりではござらぬお家の浮沈に關する重大の評定ならたとへ拙者が足腰立たぬ病中であらうとも一應拙者に御相談あるのが當然ではござらぬか？」

清左工門の云ふことがたしかに理の當然であるだけに重太夫も口を開くことが出來なくなつた。

「しかしそれも拙者が病中ゆえに御遠慮下されたとあればむしろ感謝せねばならぬことでござるが扨て信長が攻め來るとの風說とやらでござる。それは誰の口よりお聞きなされたことでござるか？」

清左工門の一言一句が肺腑を刺鋭やうにすかつた

「それは城下に於て專らの噂でござる」

重太夫は清左工門に立ち向つては劍の刄を渡つてゐるやうな心地だつた。瞬時でも隙を見せたら忽ち身を切られるまことに氣持の惡いことであつた。

「城下で專ら噂とな、む！だがそれは果して根據のあることかないことかたしかめなされたでござらうの。單なる風說に乘つて騷ぎ立てるなどは輕卒も甚だしい世の利笑ひとなることでござるからの——」

清左工門は飽迄も皮肉に突き込んで行つた。

「勿論單なる風評を聞いただけではござらぬその風說について殿の御陣中へ使者を立てましたるところ使者が早や押し寄せ來つた信長の軍勢を見て途中より引返して來たのでござる最早決して單なる風說のみでないのでござる。今にも矢玉の霰が飛んでくるのでござる」

重太夫も死物狂ひで言葉を巧みに清左工門を說き伏せやうとあせつた

廣告

ちのくすり
御需めの方は
平白銀町 吉田新聞店へ
電話四十八

平町田町
高久病院
電話五一三番

五月拾九日寫眞替り
上映映畫御案內
◆平館獨特長篇喜劇
喜劇 淺い仲 全二卷
ビリイ、ヴアン主演
日活超特作怪異名篇
四谷怪談後日物語 搖れる鐘 全七卷
谷崎十郎、澤村春子……主演
掘く人もない眞夜中に鐘が搖れる、何所から來たか女乞食が妙行寺の墓地に、時を定めて荒れ狂ふ、何者？
◆梅村蓉子の爲に大日活が巨萬の費を投じて遂に完成せる代表的名篇
現代下町情話 紙人形 春のさゝやき 十三卷
原作…田中榮三。監督…溝口健二
梅村蓉子、岡田時彥……主演
鳥人 高木新平 松竹入社第一回 冒險努力篇
怪物魔人 紫蜘蛛 全七卷
江戶八百八町の人心を恐怖せしめ怪物紫蜘蛛とは何？縱橫無盡の大慘虐突如閃く十手の雨劍戟凄壯無比の大劍史
土曜日 學生デー
平館 日活松竹高級映畫

營業品目　絹糸、絹紡績　綿糸、染糸、組紐　漁網糸、人造絹糸　カタン糸、輸出用加工糸　異綿、其他糸物一式
東京市日本橋區通油町
株式會社 藤掛商店
電話浪花三五一番 振替東京三二四〇番
糸界の羅針盤糸紐通報 御一報次第直送
小店員募集
十五才以上十七八才迄 五名、
小學校卒業程度御希望の方
磐城新聞社御出で下さい。委細面談

入院隨時（自炊の便あり）
耳鼻咽喉科專門
大和田醫院
平町南町（電一七〇番）

登錄商標
釀造元
福島縣平町
山崎合名會社
電話（營業部一〇番 釀造工場二七番）
振替東京一九七五五番
上野車坂町四三
東京支店
電話下谷五七二三番
振替東京六八三二三番

急告
一女中さん（十六七歲以上）一名
一看護婦見習　二名
右至急募集致シマス
磐城病院
平町田町通り
電話一一四

懇切迅速勉强は
弊店のモットーであります
磐城銀行御指定
ケーテー洋服店
平町材木町
高野幸一

齒科口腔一般
診療時間（午前七時ヨリ 午後八時マデ）
但シ急患ハ此限リニアラズ
平町南町成田山前
鈴木齒科醫院
齒科醫 鈴木五郎

釀造元
清世界
銘酒
各炭鑛御用達
石城小名濱町
清水屋
小野晉平
電話六番

內科、小兒科
花柳病科
入院應需
藤沼醫院
平町紺屋町
電話平園五〇七番

愛慾の嵐

○知らぬ間の 生殖機能衰弱
○危險なる 神經衰弱
○恐るべき 早老老衰

若い男女

血氣にまかせ不自然遂情や性的精力の濫費をすると、頭腦は次第に朦朧として、昔の神童も全く凡庸と化し、學業も事務能力も倦怠し、腦病、神經衰弱となつて、勇氣活力なく、深刻な悲哀に襲はれて、遂には人生行路の落伍者となり又娶るを迎へても人生の幸福を感ぜず、早老的廢人となる外ないから今の內にトツカピンを服んで、精力を增進し、頭腦を明快に肉体の勁歇を舉げつゝ立身成功と性の幸福を兩得せられよ

中年の危機

女のヒステリー、男の性慾減退は三四十の働盛りに最も多い生活の煩悶、肉慾の過勞、酒、煙草、花柳病毒等は知らぬ間に腦の中樞神經から生殖腺を犯かし、男は老朽して不能となり女は容色までも淋しくヤツレ、夫婦愛は冷くなり、家庭には風波が絕えず、事業にも生活にも失敗の苦杯を嘗めねばならぬから今すぐトツカピンを服んで精力を復活し、活動腦力を旺盛に、男ざかり、女ざかりを延長して、處世の雄者、精力の勝利者となられよ

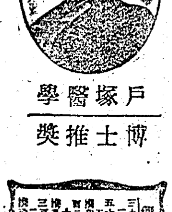
老ひたる人々

生殖腺の內分泌作用は智能、感情、精力、すべての源泉をなし、生殖機能が旺盛ならば、年を取つても皺が寄らず、白髮にもならず、智能、容貌、視力、聽力すべて若々しく、精力絕倫で發展的氣分を失へず、晚年の悅樂を全うし得るのであるから須らく秘藥トツカピンを服んで、老耄者も元氣旺盛となり松柏の綠青々たるが如く永く強く幸福を謳歌せられよ。

健康男女

トツカピンを知らねば時代遲れである、トツカピンを服まぬ人は現代生活の落伍者となる、朝服んで其日の活動の爲に、晚服んで安眠幸福の爲に——一粒百倍の無限大的精神的氣分を体驗せられよ、幸福成功の秘訣である。

生殖機能營養劑
トツカピン



戶塚醫學博士推奬

發賣元 丁子堂藥房
東京市銀座新肴町八 振替口座東京七二二一番
大阪西區立賣堀北通二ノ九 振替口座大阪一〇六番

全國到る處の有名藥店にあり

進退全く茲に谷まり 悲壮な解散式
惡戰苦闘四十日も空しく 常盤の地に再起の根も斷れた 坑夫組合の斷末魔

入山炭礦の爭議は勃發以來旣に四十日を越ゑて猶ほ更に解決の曙光さへ見出されなかつた折柄慘敗の汚名から脱せんとした爭議團幹部の苦肉策か去る十五日午後九時の大亂鬪事件を惹起しさしも困難と見られた爭議事件は急轉直下解決の

機運到達 するに至り十五日以後暴動事件に依る九十七名の檢擧者を除き殘餘の團員數十名は續々會社に復歸し各れも前非を悔ひて就業したため入坑者は急激に增加してゐるが幹部以下九十七名の檢擧者を出だし今また續々脱退者を出たすの狀態に立ち至つたので爭議團幹部も遂に大勢の赴く所如何とも術なく大慘敗裡に爭議團を解散する事に決心し昨十八日午後六時から同本部に殘餘の幹部團員全部出席爭議團解散の

悲壮なる 決議をなし十九日午後一時加藤勘十氏は本部に於て爭議團の解散を宣言するの餘儀なきに至り更に慘敗宣言書を發表した而して爭議の再燃を豫想し未だ警戒の手を緩めなかつた平署樫村署長以下の警官隊も爭議團の壞滅に依つて警戒を解く事となり茲に全く自然解決の運命に到達したが坑夫組合が此の爭議に醜ひ敗亡を見た事は常盤地方に於ける坑夫組合が

再起の根 を斷やされたもので當分爭議突發の虞ひなかるべく觀られてるが今次爭議に對し警戒の任に當つた警官は延人員五千八人であると

取締りの手薄から 交通事故頻發
危險で道を通れぬ 平町地方の昨今

平署では交通事故の頻發に鑑み取締を嚴重に勵行して來たが磐城炭礦の爭議勃發以後或は入山に飛火し內郷の五人殺更らに入山の爭議町田坑、入山の大慘事等打續く大事件のため樫村署長以下署員總出動此れが取締りに遑なく各署から多數警官隊の來援を求めてゐる現狀で

交通取締 がやゝ緩やかとなつてゐたゝめが最近また〱交通事故が頻發し乘合自動車の定員外乘車や無燈火無警鈴の自轉車は辻から辻を疾驅し老人や小供の一人步は勿論壯年の男女でも危險を感んじ安心しては一步も步めない狀態で各方面から否難の聲が昂まつて來たがさしも

打續いた 大事件も今回入山爭議の爭議團大慘敗に依つて再び爭議の起るが如き事はなくなるであらうし其の他の事件も突發事件を除いて當分は警察の活動を必要としない狀態にあるから必然的に餘力が各方面に注がれ交通事故の如きも爭議の解決と同時に幾分か緩和されるらしく一般から期待されてゐる

小田新斜坑
あす鍬入式を

好間村小田炭礦では荻原新社長就任以來順調な事業の進涉を見、業務擴張計劃中の處新斜坑を開鑿する事となり明二十日午前十時より新斜坑の鍬入式を行ふ筈であるが同斜坑は炭質極めて優良で一日三百噸位の出炭豫想で有望視されてゐる

嫌やでも出て來る 平地方の好景氣
政友內閣の出現により 消息通の觀側談

平町地方の財界を觀て某消息通の談によると去る臨時議會を通過したる財界救濟案の實施により中間景氣を出すだらうとの說をなすものがあるやうだが、抑々景氣に

最初の景 氣とか、最後の景氣とか云ふものがありとすれば中間景氣と云ふものもあるだらうが、景氣不景氣は常に順環するものであつて好景氣が何つまで續くものでもなく、又不景氣ばつかりの世もないのである、而してこの高低の波を打つて行く景氣不景氣の何處をとらへて中間景氣といふのか頗る解じ難きはこの言葉である、右は兎も角とし今後景氣がよくなるのは事實であり、又よくなるべきが當然であり然らざれば彼の

七億圓の 補償法によつて之が全部國民の負擔となつてくる、之に反し今後好況が續けば七億の補償法はあつても國民は一厘の負擔なくて濟む譯である、故に極力財界の立直しを期し景氣を出さなくてはならぬ今次の財界動搖の如きも全く憲政會の財政策を誤つたものに基くので昨今の我財界は病人の如き狀態にあつたからこれを靜養さすか何よりの策であつたに拘らず

憲政會と 云ふ藪醫者か一つこれを直し見て見せやうなどと野心を起して例の震手法等で手術をなしたのが、抑々の間違ひであつたのだ、あんなことをせねばわか財界も今回の如き危期には接せずに濟んだのである。何れにしても田中政友會內閣の出現により逐次財界は好轉するであらうと

磐女旅行通信
(關西旅行隊)

第八信　京都にて

學門が出來ますやうにと北野天滿宮にぬかずきました『お買ひやす〱』の聲がなつかしく私達ちの腦にひゞく、宿に歸つたのは五時四十分――二度白鳥の浮ぶ加茂川のさゝやきを聞く事の出來る辯慶樓に宿れば次第に宵は迫つて向への東山は寐たる姿を黑色に星もなく岸邊の灯がゆれて加茂川の水の面には夕もやがかゝり、格子戶よりもれて來る三味線の音は私達ちの胸に晚春の京都を深く印象つけずにはたきませんした、平安の古き都には靜かな夜がたどどれたのです、三味の音はゆかしくひゞき加茂のせゝらぎとリズムを合たので御座います、明日は大津の都です

第九信　大津にて

淸らかな加流の流れにも二日間馴れ親んだ旅館の人達にも最後のお別れを告げて午前九時宿を出てすぐ東京願寺に參詣いたしました、寺內には名高い毛綱が保存されてあるそれをじつと見詰めた時私達ちは何とも云ひ得ない或る感激に打たれずにはゐられませんでした、本願寺前より電車に乘り別格官弊社護王神社に詣で次に御所に參拜しました、境內の通路の兩側に生ひ茂つてゐる綠木立の下にぽつかりと咲いた黃や藤紫の草花は木の間を漏れくる初夏の陽をあひて快よい香を放つてゐました、それから比叡登山を試み出町柳から八瀨まで電車に乘りそこでグーブルカーに乘りかいて中腹邊まで登つたのです、グーブルカは始めてなのでみんな元氣よくやつて來たのですがそれを降りて頂上にまで步いてゆく時にはすつかり疲れ切つて了ひました、漸くのことで頂上に達した時、それは青い色を流したような湖水の面に浮むでゐる白い汽船や湖岸に立ち並ぶ小さな家や迫る綠色の山岳丘陵等が水淺黃の空に包まれて小さな模型圖の樣にも見ゐ旅の疲れも打ち忘れて見惚れました。

愁眉を開く
解散を聞ゐて

爭議勃發以來四十餘日間全く黑雲に蔽れて居た湯本町も今十九日午後一時をもつて爭議團解散の報一度同町內に傳るや同町民の喜びは非常なもので充滿してゐた妖雲が晴れ渡つた如き喜に包まれてゐる

公私往來

木村淸治氏(縣議)十七日午後一時にて出福

草野順平氏(磐銀支配人)十八日午前九時出福

白井一郞氏(磐銀專務)十八日午後小名濱行き即日歸平

鈴木辰三郞氏(質銀專務)同上

小野晋平氏(縣議)十九日午後出福

遊沼龍輔氏(本社副社長)十八日午後三時上京

入山爭議の一味團 既に卅餘名收監
猶ほ取調べ猛烈に 起訴七十名位に

入山爭議團が未曾有の大暴動に依つて平署に檢擧さゝてゐる關家、高橋、田村、田中、廣瀨の幹部以下九十七名は其の後小泉平局檢事が來援の佐藤檢事と協力爭議各署長平署司法主任を督して取調を急ぎ罪跡明なる者は片端から起訴平刑務所に收容し今十九日午前中旣に卅餘名の收監を見たが更らに嚴重取調を續行中で收監者は今明中五十名を越し當初に豫想された如く少くも七十名內外の起訴を見るに至るものと觀られてゐるが幹部中田村を除いた他の四名は未だ取調が續けられてゐる尙罪跡不明の者七名は昨夜一先平署を釋放した

正視するに忍び得ない 山を下る爭議坑夫の家族
早や一粒の米も一錢の貯ひもなく 喰ふや喰はずで散り〱に 恐るべき勞動爭議の禍根

入山炭礦の騷動で檢擧された鑛夫組合員九十七名は(實際檢擧されたものは百三十二名であるが取調べの結果釋放されたものが三十五名)いづれも去月十二日爭議勃發以來組合運動のために

罷業團に 參加しいつもその第一戰に立つて會社と鬪い來つた所謂鬪士で、組合側が爭議を起してから僅二週間內外ですでに資金に窮乏を告げ罷業參加の勞働者に對し一日平均の配給米をなして辛うじて今日までその露命をつないで來たものであるが長の爭議で本部からの配給米もすでにつき一日たきに配給するといふ文字通りの苦戰を續けてゐた折も折今次の騷動で公務執行妨害暴力行爲取締規則違反等の罪名で

獄舍に縛 がれたが大黑柱を失つた家族は多くは一錢の金も一升の白米の貯へもなく本部からの配給米も絕たれた昨今全く鹽をなめての有樣であるものは衣類家財道具を叩き賣また或ものは收監された夫、兄弟等を捨ててあてどもない旅に出るもの等正視するに忍びない悲慘なる悲劇はいたるところに醸されてゐる

郡下の春蠶 早きは二眠
山手は遲れる

本郡下方部の養蠶掃立は旣に終了し目下早きは二眠中ゝある澤渡、三坂等山間方部の掃立は約二週間の遲れに昨今漸く掃立始めとなり廿四五日をもつて本郡內全部の掃立が終るものと想はれてゐるが今年は財界の不況から消極方針に出でてゐたため掃立は全部を通じて前年春蠶に比して約一割減の見當であつたのが順調な天候で桑の發育頗る良好であるため財界の好轉と共に前年以上の收繭を見られるであらうと言ふので一般當業者は悅に入つてゐる

民間を脅威する 官行製炭に反對
けふ急據委員を擧げ 平營林署に陳情

石城、双葉、相馬の濱三郡に現在小川(石城)大野、鹿代(双葉)原町(相馬)の四ケ所に官行生炭事業が行れてたり民間木炭生產業者は官行事業より受くる壓迫少りからす官行生炭事業は民間當業者を殺すものであるから廢止して貰らいたいと

數年來叫 ばれて居たものであるが一昨年平營林署に事業を行はんとするの計劃を發表した此れがため本郡は勿論双葉相馬の當業者は各れも相結束して同計劃の廢棄を當局に請願し從來計劃廢棄運動やゝ見るべき効果あり昨十五年度の一ケ年を保留して廢棄か實現かを決する事となつて居たが

最近やゝ 運動が緩慢になつたため營林署當局はまた〱最近同計劃を內々進捗せしむる事となつたとのの如く此れを洩れ知つた濱三郡生炭業者の狼狽極度に達し該計劃が實現した曉は現在に於いてすら經營難を告げて居る當業者の死活に關する問題であると必死此れが廢棄の確定を見んとして急據今十九日午前十時から同業者同盟委員會を召集

對策協議 の決果第一著手として本日營林署に再度の官行生炭事業計劃の廢棄を請願する事となつた

時言

時、昭和二年五月十九日午後一時、日本坑夫組合は洞ヶ峠を入山の一戰に慘敗し、遂ひに枕を竝べて討死す

□

まことに其の最後や醜くして穢なし、一切を自業自得と感念して迷はずに成佛せよ、南無慘、々々

□

夫は囹圄の人となりその妻と子は飢えに頻す、誘ふものは誘はるゝものよりも、かしこくして罪がふかい

□

さるにても、常盤炭界永遠の平和の爲め、玉碎を覺悟の前に始終した入山炭礦の意氣、また旺むなりと謂ふべし

鉛と鐵砲
(投書歡迎)

郵便貯金

◇おい皆んな何んでもねねこつたが、俺のいふことも一寸きいてくれ、俺は何んの罰か知んねねが、お天陽樣たあ仲違ひでもぐらのやうに坑內ん中さはいんなけりあ飯が食へねねんだ俺だつていつまでこんなせうべいはしたかねえゝ思つて、ちつと宛でも貯金を初めたなあ一昨年頃からよ

◇と今度故鄉の叔父が死んだんで、どうでも一ぺん歸らんけあなんねね、それにあそれ金か下嬶を一里半もある局さ貯金下にやつたと思ひねね

◇所が代人が下るときにあ委任狀が要る、代人の判も用だ、ていふじやねねか、嬶の判なんざあありあしねね、今拵えてたんじや急場の間に合ねねし、自分で行きあ文句はねえんたが、一日だつて餘計なとこに休みあ明日の傳票に差支らあ、ヘン、面白くもねえ、預かる時あ、代人でもなんでも預かつて置きあがつてよ、下のとなつたら面倒な事吐しあがる

◇それも間違えねねやうに念を入れんだといやあ我慢すつどしても、これがためい、代人であり乍ら本人でござると出かけたやつあ、どうするんでね、まさか局じや、戶籍謄本から寫眞まで備へて置きあすめねからさすつとこれから正直な奴も無くなんな

◇それからだ俺にもしもの事があつたときあどうなるんでね折角積んだ金あ嬶子供の使へ物になんなくなんじやねねかと思つたつて滿更無理じやあんめね

◇もとから無學な俺だ、死んでから何の事、委任狀なんざあ書けねねぞ、篦棒め、お役所仕事だか何の眞似だか知んねえがもちつと融通利かせろい

◇が、まあいゝや、その日暮しの俺らが、がらにもねね貯金なんかすべえと思ふから、文句の一つもいひたくなんだ、俺あ今日から改心して貯金する金があつたら、好きな酒の一合も餘計に飲むとすべわや(泥炭生)

御挨拶

折角學びました左記の技藝を實の持ち腐れにするのも惜しいと存じましてお望みの方々には御練磨のお相手を致しますから御遠慮なくお訪ね願ひます。

一、奧田式裁縫の方法

裁板、ひのし、篦、鏝等の諸道具を一切用ひず地質を少しもいためずに着物や羽織が僅か三四時間で出來上る最新裁縫法にて奧田女史か卅年の苦心を拂つて案出致したもので御座います。

二、縮緬細工

御祝儀用として優美な鯛や寶船等が鋏を入れず糊を使はず自由自在に出來上ります、ですから材料が少しもいたまず不用になつて後、解きますとその他のものに用ひられるのが特徵で御座います。

此外茶の湯、盛花(小原式)、生花(古遠州流)等

是非一度お遊びがてらにお出掛け下さい

平町白銀町十二番地

高橋さく子

ヒゲタ醬油

三百年の古い歷史と 他の模擬(まね)の出來ない 獨特の芳香(かほり)と色澤(つや)を有つ

醸造元 銚子醬油株式會社

平町田町

特約店 廣瀨支店

電話五四番

營業種目

內地材 材木各種、羽柄材各種 建築諸材請負 礦山用坑木其他諸材請負

外材部 米松、米杉、大角製材調達請負 其他

佐藤材木店

常磐線平町 新川町

電話三三五番

入院隨意(自炊の便あり)

外科專門

平 南町

上田外科醫院

電話一二九